

令和元年
岩手県教育委員会定例会
11 月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和元年 11 月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和元年 11 月 18 日（月）午後 1 時 30 分

第 1 会期決定の件

- | | | | |
|------|----------|--|---------------|
| 第 2 | 事務報告 1 | 令和元年台風第 19 号災害に伴う教育委員会関係の被害状況について | (教 育 企 画 室) |
| 第 3 | 事務報告 2 | 令和元年 9 月県議会定例会の概要について | (教 育 企 画 室) |
| 第 4 | 事務報告 3 | 令和 2 年度岩手県立高等学校入学者選抜の実施について | (学 校 教 育 課) |
| 第 5 | 事務報告 4 | 第 74 回国民体育大会の結果について | (保 健 体 育 課) |
| 第 6 | 報 告 1 | 会計年度任用職員である技能職員等の給与に関する規則に関する専決処理の報告について | (教 職 員 課) |
| 第 7 | 報 告 2 | 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則に関する専決処理の報告について | (学 校 調 整 課) |
| 第 8 | 議案第 15 号 | 岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則 | (学 校 調 整 課) |
| 第 9 | 議案第 16 号 | 岩手県いじめ問題対策委員会委員の任命に関し議決を求めることについて | (学 校 調 整 課) |
| 第 10 | 議案第 17 号 | 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて | (教 育 企 画 室) |
| 第 11 | 議案第 18 号 | 公立小学校長の人事に関し議決を求めることについて | (教 職 員 課) |
| 第 12 | 議案第 19 号 | 県立学校事務長の人事に関し議決を求めることについて | (教 職 員 課) |
| 第 13 | 議案第 20 号 | 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて | (教 職 員 課) |
| 第 14 | 議案第 21 号 | 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて | (教 職 員 課) |
| 第 15 | 議案第 22 号 | 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて | (教 職 員 課) |
| 第 16 | 議案第 23 号 | 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて | (教 職 員 課) |
| 第 17 | 議案第 24 号 | 学校職員の懲戒処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | (教 職 員 課) |
| 第 18 | 閉 | 会 | |

事務報告 1

令和元年台風第 19 号災害に伴う教育委員会関係の被害状況について（令和元年 11 月 11 日現在）

1 人的被害（児童生徒・教職員）

なし

2 施設等の被害（被害額は、現在調査中であること。）

(1) 公立学校の被害（調査率：95%）

（単位：校、千円）

| 学 校 種 | 学校数 | 主な被害 | 被害額 |
|---------|-----|--|---------|
| 小 学 校 | 56 | 校舎等の床上浸水、校舎等の屋根・ガラス等の破損、倒木、土砂流入 など (11 市 5 町) | 149,120 |
| 中 学 校 | 39 | 敷地内の冠水、校舎の屋根の破損、倒木、法面一部崩落 など (9 市 5 町) | 54,032 |
| 義務教育学校 | 1 | 雨漏り (1 町) | 0 |
| 高 等 学 校 | 39 | 校舎等の屋根・ガラス等の破損、倒木、防球ネット等の破損 など | 5,789 |
| 特別支援学校 | 5 | 校舎等の屋根・ガラス等の破損 など | 3,972 |
| 計 | 140 | (11 市 6 町) | 212,913 |

※ 「小学校」には、小中併設校を含むこと。

(2) 共同調理場（給食センター）の被害（調査率：100%）

（単位：施設、千円）

| | 施設数 | 主な被害 | 被害額 |
|-------|-----|-----------------------|-----|
| 共同調理場 | 3 | 屋根の破損 など (1 市 1 町) | 380 |

3 社会教育施設の被害（調査率：35%）

（単位：施設、千円）

| | 施設数 | 主な被害 | 被害額 |
|--------|-----|--|-----|
| 社会教育施設 | 13 | ガラス等の破損、倒木、土砂流入、車庫等の浸水 など (3 市 4 町) | 655 |

4 文化財関係の被害（調査率：85%）

（単位：件、千円）

| | 件 数 | 主な被害 | 被害額 |
|-------|-----|---|--------|
| 文 化 財 | 14 | 法面一部崩落、屋根の窓ガラスの破損、倒木、保護盛土等の流出 など (3 市 4 町) | 63,586 |

5 その他の被害等

(1) 学用品の被害状況

| 学 校 種 | 被害のあった児童生徒数 | 対応 |
|---------|------------------|---------------------------|
| 小 学 校 | 4 (1 市 1 町 1 村) | 市町村教育委員会において、災害救助法等に基づき対応 |
| 中 学 校 | 3 (2 市) | |
| 県 立 学 校 | 5 | 県教育委員会において、災害救助法等に基づき対応 |
| 計 | 12 (2 市 1 町 1 村) | |

(2) 宮古教育事務所の業務支援

被害の大きい市町村や学校を訪問し、状況把握や要望聴取等に対応するため、宮古教育事務所へ本庁の指導主事1名を派遣し、業務支援（10月17日～10月25日）を実施。

(3) 教育委員による被災地訪問

被害の大きい久慈地区・宮古地区について、小平・新妻・宇部各教育委員が被災した学校等を訪問し、被災状況や児童生徒・教職員の状況等を確認するとともに、学校長等を激励、助言。

6 令和元年台風災害復旧・復興推進本部の設置

- 県では、11月12日、令和元年台風第19号の災害対策を推進するため、「令和元年台風災害復旧・復興推進本部」（以下「推進本部」という。）を設置し、復旧・復興の総合的な把握や被災住民の生活再建支援、被災地のコミュニティ再生、産業の再生・復興等に、全庁を挙げて取り組む体制を構築。（※推進本部の設置に伴い、災害対策本部は11月12日午前9時5分をもって廃止）
- また、推進本部の設置にあわせ、事業全体の総括を担う組織として、知事部局（政策地域部）に「台風災害復旧復興推進室」を設置。
- 県教育委員会では、推進本部の本部員として教育長が、台風災害復旧復興推進室の併任職員として教育企画室教育企画推進監が、それぞれ参画しており、県教育委員会においても、引き続き、学びの場の復旧や被災した児童生徒の心のケアなどに知事部局と連携して対応。

台風 19 号による被災地への訪問（県北地区）【令和元年 10 月 23 日】

1 県北教育事務所（11:30～12:00）

(1) 対応者

菅野所長、秋山企画総務課長

(2) 主な内容

ア 委員からの激励

イ 管内の被災状況、教育事務所の対応についての説明（資料あり）



2 久慈市教育委員会（13:00～13:35）

(1) 対応者

後教育長、浅水教育部長、女澤教育総務課長、寺澤学校教育課長、藤原生涯学習課長

(2) 主な内容

ア 委員からの激励

イ 久慈市内小中学校の被災状況、久慈市、久慈市教委の対応についての説明



3 普代村教育委員会（14:25～14:50）

(1) 対応者

三船教育長

(2) 主な内容

ア 委員からの激励

イ 普代村、村立学校の被災状況、普代村、普代村教委の対応についての説明



4 普代村立普代中学校（15:00～15:30）

(1) 対応者

瀬川校長、觸澤副校長

(2) 主な内容

ア 委員からの激励

イ 普代小・中学校の被災状況、中学校の対応についての説明



台風 19 号による被災地への訪問（宮古地区）【令和元年 10 月 30 日】

1 宮古教育事務所（10:48～10:53）

(1) 対応者

熊谷主任指導主事

(2) 主な内容

- ア 管内の状況について
- イ 委員からの感謝と激励の言葉



2 鍬ヶ崎小学校（11:05～11:45）

(1) 対応者

宮古市教育委員会

伊藤教育長、佐々木学校教育課長

林校長

(2) 主な内容

- ア 委員からの感謝と激励の言葉
- イ 伊藤教育長から宮古市立学校の被災状況についての説明



- ・ 風向の違いにより、同一市内においても被害状況が全く異なる。亀岳小学校は全く被害がなかった。
- ・ 子どもたち、教員の人的被害はなかったが、家族の分も含めて車 3 台を流された教員がいる。
- ・ 重機が不足し、道路、水道等の復旧に時間がかかっている。
- ・ 重茂では、陸上自衛隊に入浴設備の支援をいただくなど、大変助けられた。
- ・ 過去の経験が生きている。被害の大きかった地域もあるが、大きな混乱はなく生活している。

ウ 林校長から学校の被災状況の説明

- ・ 校舎の裏側に大量の泥が流れ込んだ。現在は、その泥を撤去し、石灰を撒いた状態。
- ・ 今回の台風では影響はなかったが、校舎裏の法面は危険な状態にある。



- ・ 道路に沿って、泥が流れ込んできた。道路わきの住宅への浸水はなかった。



- ・ 扉を閉めていたが、下の隙間から泥水が入ってきて、校舎1階廊下が水浸しになった。



- ・ 校庭には土砂が流れ込こんだ。
- ・ 震災被害で埋め立てた部分の土は、流水の影響により流された。



3 宮古恵風支援学校 (13:15~14:15)

(1) 対応者

坂井校長

(2) 主な内容

ア 委員からの激励の言葉

イ 校舎周辺の被災状況等の説明

- ・ 校舎の被害はなかったが、通学路の被害が大きかった。台風直後は道路が寸断され、学校に来ることができなかった。
- ・ 電気、電話、水道が止まった。電気、電話は15日(火)、水道は17日(木)に復旧。
- ・ 職員は、15日(火)に、市の福祉センターに集合。当面は休校であることを確認し、18日(金)から出勤。
- ・ 21日(月)に、市役所にて保護者説明会を実施。通学路の不安等について厳しい意見も出た。
- ・ 校舎、施設の被害は一切ない。



令和元年 9 月県議会定例会の概要について

9 月県議会定例会の概要は、次のとおりであった。

1 日 程

| | |
|--------------------|-----------------------------|
| 10月8日（火） | 本会議（招集、採決：人事議案） |
| 10月16日（水）～21日（月） | 本会議（代表質問、一般質問、質疑、委員会付託） |
| 10月23日（水） | 休会（常任委員会） |
| 10月25日（金） | 本会議（採決：補正予算、条例、請負契約等） |
| 10月28日（月）～11月8日（金） | 休会（決算特別委員会（教育委員会：11月1日（金））） |
| 11月11日（月） | 本会議（採決：歳入歳出決算認定、補正予算等） |

2 代表質問・一般質問

(1) 党派別一般質問議員数（13人）

| | |
|----------|----|
| 希望いわて | 4人 |
| 自由民主党 | 4人 |
| いわて新政会 | 2人 |
| いわて県民クラブ | 1人 |
| 日本共産党 | 1人 |
| 無所属 | 1人 |

(2) 代表質問（教育委員会関係：なし）

(3) 一般質問（教育委員会関係：8人）

ア 神崎 浩之 議員 1件

(ア) 子育て支援について

① 支援学校及び分教室について

イ 佐藤 ケイ子 議員 4件

(ア) 教育環境について

① 教職員の多忙化対策について

a タイムカードの導入について

b 部活動指導員の配置状況について

c 学校給食費の公会計化について

d 学校弁護士（スクールロイヤー）の配置について

ウ 臼澤 勉 議員 3件

(ア) 安心して学び育てられる環境整備について

① 不登校児童生徒の支援について

再質問1 市町村が設置する適応指導教室への県としての支援について

② 解決志向アプローチに基づく教育の推進について

③ 長期入院患者への教育環境整備について

エ 岩城 元 議員 1 件

(ア) 地域資源の発信について

- ① 自然・歴史の調査研究について

オ 高橋 穂至 議員 1 件

(ア) 中学校の部活動のあり方について

再質問1 中学校の部活動のあり方について

再質問2 中学校の部活動のあり方について

カ 千葉 盛 議員 1 件

(ア) 東日本大震災からの復興について

- ① 東日本大震災津波伝承館について
a 児童生徒の見学機会の確保について

キ 齊藤 信 議員 4 件

(ア) 教育の諸課題について

- ① 教師による暴言・体罰について
a 県立高校バレー部員の自殺事案について
b 盛岡一高事案について

再質問1 盛岡一高事案について

- ② テストづけの教育について
a 不登校の実態等について

再質問1 日本財団の実態調査について

- b 学力テストの実施について

再質問1 過去の諸調査問題活用ガイドラインに基づく実態把握について

ク 小西 和子 議員 5 件

(ア) ゆたかな教育の実現について

- ① 岩手県教職員働き方改革プランの目標達成について

再質問1 岩手県教職員働き方改革プランの目標達成について

- ② 岩手県小・中学校学習定着度状況調査について

再質問1 岩手県小・中学校学習定着度調査について

- ③ 子どもの権利が尊重され、子どもの能力が最大限発揮できる岩手について

再質問1 子どもの権利が尊重され、子どもの能力が最大限発揮できる岩手について

- ④ 大学入試に活用する英語民間検定試験について

(イ) 多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現について

- ① 多様な生き方が認められる社会の実現について
a 小学校・中学校・高校における人権教育の推進状況について

(4) 答弁

答弁は、知事及び教育長が行った。

3 文教委員会

【10月23日（水）】

(1) 議案の審議（議案第1号、議案第24号、議案第32号、議案第35号及び第36号）

ア 議案第1号「令和元年度岩手県一般会計補正予算（第1号）第1条第2項第1表歳入歳出予算補正中歳出第10款教育費のうち、教育委員会関係」及び「第2条第2表債務負担行為補正中1追加中11」について、佐藤教育次長兼教育企画室長から提案理由の説明を行った。

齊藤信委員から質問があり、関係課長が答弁した。

原案どおり可決された。

イ 議案第24号「岩手県立学校設置条例の一部を改正する条例」について、藤澤特命参事兼高校改革課長から提案理由の説明を行った。

千葉秀幸委員、齊藤信委員、小西和子委員から質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

原案どおり可決された。

ウ 議案第32号「岩手県立野外活動センター災害復旧（建築）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて」、佐藤生涯学習文化財課総括課長から提案理由の説明を行った。

城内よしひこ委員、齊藤信委員から質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

原案どおり可決された。

エ 議案第35号「損害賠償請求事件に係る和解及びこれに伴う損害賠償の額を定めることに関し議決を求めることについて」、新田学校施設課長から提案理由の説明を行った。

質問はなく、原案どおり可決された。

オ 議案第36号「損害賠償請求事件に係る和解及びこれに伴う損害賠償の額を定めることに関し議決を求めることについて」、新田学校施設課長から提案理由の説明を行った。

城内よしひこ委員、齊藤信委員から質問があり、関係課長が答弁した。

原案どおり可決された。

(2) その他（この際発言）

「台風第19号災害に伴う被害の状況（教育関係）について」、大畑教育企画推進監から報告を行った。

報告事項を含め、伊藤勢至委員、城内よしひこ委員、千葉絢子委員、齊藤信委員、小西和子委員及び上原康樹委員から質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

4 決算特別委員会の審議

(1) 総括質疑

次の委員から質問があり、知事が答弁した。

ア 吉田 敬子 委員 1件

(ア) 安心して子どもを産み育てられる環境について

① キャリア教育とライフプランニング支援について

イ 工藤 勝子 委員 3件

(ア) 今後の県立高等学校の再編計画について

① 教育にかける思いについて

再質問1 教育にかける思いについて

② 小規模高等学校における教育のあり方について

③ 再編計画の再延期について

(2) 教育委員会審査

教育長から平成30年度決算について、説明を行った。

次の委員から質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

ア 高橋 はじめ 委員 7件

(ア) 教職員の処分事案について

① 過去5年間の内容別処分件数について

再質問1 過去5年間の内容別処分件数について

② 再発防止への取組内容及び再発要因について

再質問1 再発防止への取組内容及び再発要因について

③ 事案発生校における児童生徒への対応について

(イ) 学校事務補助非常勤職員配置事業費について

① 事業概要、実施内容及び事業効果について

② 県内各校への展開について

(ウ) 大学入試における英語民間検定試験について

① 英語民間検定試験の受験料について

② 英語民間検定試験の延期への所感について

【関連】 佐々木 順一 委員 3件

① 英語民間検定試験に係る文部科学大臣の発言について

② 英語民間検定試験に係る文部科学省の見解について

③ 大学入試センター試験臨時会場について

イ 岩崎 友一 委員 5件

(ア) いじめ対策（児童生徒健全育成推進費）について

① いじめ認知件数の推移とその内容及び重大事態の発生状況とその対応について

再質問1 いじめ認知件数の推移とその内容及び重大事態の発生状況とその対応について

再質問2 いじめ認知件数の推移とその内容及び重大事態の発生状況とその対応について

再質問3 いじめ認知件数の推移とその内容及び重大事態の発生状況とその対応について

再質問4 いじめ認知件数の推移とその内容及び重大事態の発生状況とその対応について

再質問5 いじめ認知件数の推移とその内容及び重大事態の発生状況とその対応について

再質問6 いじめ認知件数の推移とその内容及び重大事態の発生状況とその対応について

② いじめに関するアンケートについて

③ 道徳の教科化の状況について

(イ) 特別支援学校のスクールバスの運行について

① 釜石祥雲支援学校のスクールバス運行に向けた取組状況について

② 県内の特別支援学校のスクールバスの運行状況と必要性について

再質問1 釜石祥雲支援学校のスクールバス運行に向けた取組状況について

ウ 吉田 敬子 委員 4件

(ア) 不登校児童生徒に対する支援について

再質問1 不登校児童生徒に対する支援について

再質問2 不登校児童生徒に対する支援について

再質問3 不登校児童生徒に対する支援について

(イ) 幼児教育について

- ① 幼児教育の在り方についての県の認識と今後の取組について
- ② 平成30年度の取組について
- ③ 幼児教育センターの全国の状況と本県の今後の取組方針について

エ 佐々木 努 委員 1件

(ア) 部活動について

- ① 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

再質問1 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

再質問2 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

再質問3 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

再質問4 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

再質問5 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

再質問6 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

再質問7 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

【関連】 千葉 絢子 委員 1件

- ① 高校入試における部活動の内申書の記載について

【関連】 斉藤 信 委員 1件

- ① 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

再質問1 部活動の方針に基づく中学校及び高等学校の取組状況について

オ 郷右近 浩 委員 6件

(ア) 部活動指導員配置事業について

- ① 評価と課題について
- ② 今後の対応について

再質問1 今後の対応について

(イ) 公立学校へのエアコン設置について

- ① 市町村における設置状況について
- ② 県立高校の保健室への設置について
- ③ 県立高校の普通教室への設置について
- ④ 国に対する要望について

【関連】 高橋 穂至 委員 1件

- ① 部活動指導員配置事業における評価と課題について

再質問1 部活動指導員配置事業における評価と課題について

カ 松倉 史朋 委員 4件

(ア) 児童生徒の読書者率の向上について

- ① 読書者の定義及び読書者率の向上のために県が行う施策について
- ② 読書者率が減少する要因及びそれに対する県の施策について
- ③ スマートフォン及びタブレット端末による閲覧について

再質問1 ブックリストの選定について

再質問2 ブックリストの選定について

再質問3 ブックリストの選定について

再質問4 ブックリストの選定について

再質問5 ブックリストの選定について

再質問6 ブックリストの選定について

再質問7 ブックリストの選定について

(イ) 部活動指導員導入の現状と今後の展望について

再質問1 部活動指導員導入の現状と今後の展望について

再質問2 部活動指導員導入の現状と今後の展望について

再質問3 部活動指導員導入の現状と今後の展望について

再質問4 部活動指導員導入の現状と今後の展望について

再質問5 部活動指導員導入の現状と今後の展望について

キ ハクセル 美穂子 委員 1件

(ア) いわて進学支援ネットワーク事業について

再質問1 医学部進学セミナーの内容について

再質問2 医学部進学セミナーの参加者数について

再質問3 医学部進学セミナーの効果について

再質問4 医師を目指す生徒の奨学金について

ク 岩淵 誠 委員 7件

(ア) 県立中学校開設10年の評価について

① 設置10年における県政人材育成の状況について

② 課題について

③ 10年の検証の必要性について

再質問1 県立中学校開設10年の評価について

再質問2 県立中学校開設10年の評価について

再質問3 県立中学校開設10年の評価について

再質問4 県立中学校開設10年の評価について

(イ) 教育改革2020への取組について

① 大学入試改革に向けた取組について

② 小学校英語の必修教科化について

③ 小学校のプログラミング教育への対応について

④ アクティブ・ラーニングについて

再質問1 アクティブ・ラーニングについて

ケ 菅野 ひろのり 委員 1件

(ア) 中高一貫教育の有効性や今後の方向性について

コ 高田 一郎 委員 7件

(ア) 就学援助制度について

① 子どもの生活実態調査の受け止めと保護者負担の状況について

② 準要保護児童生徒に対する援助費の拡充について

③ 児童生徒に対する支給率の差について

④ 修学旅行費の支給改善の取組状況について

(イ) 特別支援学校におけるスクールバスの運行等について
再質問1 医療的ケアが必要な児童生徒への対応について
再質問2 特別支援学校におけるスクールバスの運行等及び医療的ケアが必要な児童生徒への対応について

(ウ) 教職員に対する産業医の面接指導について
再質問1 教職員に対する産業医の面接指導について

(エ) 県の学習定着度状況調査について
再質問1 県の学習定着度調査について

サ 千田 美津子 委員 4件

(ア) 指導主事の派遣の現状と今後の対応について

(イ) 部活動指導員の配置について
再質問1 市町村での配置が進まない要因について
再質問2 県の支援について

(ウ) 平成30年度児童生徒の問題行動、不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について
再質問1 平成30年度児童生徒の問題行動、不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

再質問2 平成30年度児童生徒の問題行動、不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について
再質問3 子どもの権利条例について

(エ) 小学校英語専科教員の配置について
再質問1 小学校英語専科教員の配置について

シ 小林 正信 委員 7件

(ア) スクールソーシャルワーカーについて
① 配置状況、活動内容及び増員予定について
再質問1 配置状況、活動内容及び増員予定について
再質問2 配置状況、活動内容及び増員予定について
② 配置の現状について
③ 学校、地域、NPO等とSSWとの連携について
④ 高校中途退学者数及び支援機関と学校との情報共有について

(イ) フリースクールについて
(ウ) 夜間中学について
(エ) いじめの相談体制について

※ 各議員毎の件数は項目数であり、同一項目の関連質問は含んでいないため、件数と答弁実績数は一致していないこと。

事務報告3

令和2年度岩手県立高等学校入学者選抜の実施について

令和元年10月30日公表済

I 令和2年度岩手県立高等学校第1学年募集定員について

1 令和2年3月中学校・義務教育学校卒業見込者数

| | | |
|------------|-----------|------|
| 令和2年3月卒業見込 | 平成31年3月卒業 | 増 減 |
| 10,680 | 11,138 | -458 |

(学校基本統計速報)

2 募集定員

全日制 8,960人 (昨年比-480人) 62校 (全て本校)

| 年度\学科 | 普通 | 普通・理数 | 総合 | 体育 | 小計 |
|-------|-------|-------|-------|----|-------|
| R2 | 4,240 | 880 | 1,040 | 40 | 6,200 |
| H31 | 4,440 | 960 | 1,120 | 40 | 6,560 |
| 前年比 | -200 | -80 | -80 | 0 | -360 |

| 年度\学科 | 農業 | 工業 | 商業 | 水産 | 家庭 | 小計 | 合計 |
|-------|-----|-------|-----|----|-----|-------|-------|
| R2 | 520 | 1,280 | 720 | 80 | 160 | 2,760 | 8,960 |
| H31 | 520 | 1,360 | 760 | 80 | 160 | 2,880 | 9,440 |
| 前年比 | 0 | -80 | -40 | 0 | 0 | -120 | -480 |

定時制 560人 (昨年と同じ) 9校 (本校7校、分校2校)

| 年度\学科 | 普通 | 工業 | 合計 |
|-------|-----|----|-----|
| R2 | 520 | 40 | 560 |
| H31 | 520 | 40 | 560 |
| 前年比 | 0 | 0 | 0 |

【備考】

- ・ 盛岡市立高等学校を除いた数値であること。
- ・ 入学者選抜を実施する学校数 65本分校 (62 + 9 - 6 = 65本分校)

| 全日制 | 定時制 | 全日制・定時制併設校 |
|--------|-------------|--------------------------|
| 62校 | 9校 | 6校 |
| (全て本校) | (本校7校、分校2校) | (盛岡工業、一関第一、大船渡、釜石、宮古、福岡) |

II 主な入試日程

| | | |
|----|--|--------------------|
| 1 | 入試説明会（6教育事務所） | 10月29日（火）～11月1日（金） |
| 2 | 推薦入学者選抜実施 | 1月28日（火） |
| 3 | 推薦入学者合格通知 | 2月4日（火） |
| 4 | 一般（定時制成人枠を含む）・連携型・杜陵高校定時制（前期日程）入学者選抜実施 | 3月6日（金） |
| 5 | 追検査 | 3月12日（木） |
| 6 | 合格者発表 | 3月17日（火） |
| 7 | 二次募集・杜陵高校定時制（後期日程）入学者選抜実施 | 3月25日（水） |
| 8 | 二次募集・杜陵高校定時制（後期日程）合格者発表 | 3月27日（金） |
| 9 | 通信制入学者選抜実施 | 4月2日（木） |
| 10 | 通信制合格者発表 | 4月6日（月） |

III 令和2年度入学者選抜の方法

1 推薦入学者選抜

(1) 対象学科

全日制・定時制の全学科において実施することができる。

(2) 応募資格

次のア～オの全てに該当する者

ア 岩手県内の中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部（以下「中学校等」という。）を令和2年3月に卒業する見込みの者、若しくは平成31年3月に卒業した者

又は、東日本大震災津波の被災により、岩手県内から県外に転学し、令和2年3月に中学校等を卒業する見込みの者、若しくは平成31年3月に中学校等を卒業した者のうち、いずれか一方に該当することを岩手県教育委員会が認めた者

ただし、種市高等学校海洋開発科を志願する場合は、令和2年3月に中学校を卒業する見込みの者、若しくは平成31年3月に中学校を卒業した者

イ 当該高等学校に合格した場合、学力調査を受けること及び入学を確約できる者

ウ 当該高等学校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者

エ 次の応募資格A又は応募資格Bに該当する者

応募資格A スポーツ、文化・芸術、特別活動（生徒会活動等）、その他校内外の活動（ボランティア活動、地域貢献活動等）において顕著な実績を持つ者

応募資格B 将来の職業選択や社会貢献に強い意欲を持っている者

オ 当該高等学校の示す推薦基準を満たしている者（推薦入学者選抜を実施する各高等学校の各学科（学系・コース）の推薦基準は、別に定める。）

(3) 募集定員

ア 定員の10%以内とする。

ただし、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系及び芸術学系については、50%以内とする。

また、普通科、普通・理数科及び体育科以外の学科のうち、応募資格A及び応募資格Bの両方で募集する学科は、次の（ア）又は（イ）の割合とする。

（ア）動物科学科、植物科学科、食品科学科、人間科学科、環境科学科、生物科学科、食農科学科、農業科学科、生産技術科及び農芸科学科は20%以内とする。

（イ）上記（ア）以外の学科は15%以内とする。

なお、定員の割合は5%ごととする。

イ 県のスポーツ特別強化指定校においては、当該指定競技に係る人数を推薦募集定員の中に入れることとする。

ウ 推薦入学者選抜実施校の各学科（学系・コース）の推薦募集定員は、別に示す。

(4) 通学区域

学区の制限を受けないものとする。

(5) 出願制限

ア 出願は、本校又は分校1校に限るものとする。

イ 志願先高等学校に二つ以上の学科（学系・コース）がある場合には、第2、第3志望まで出願することができる。

ただし、異なる適性検査を実施する学科（学系・コース）への出願は二つまでとする。学科（学系・コース）により推薦基準が異なる場合には、志願する全ての学科（学系・コース）の推薦基準を満たさなければならないものとする。

ウ 岩手県立高等学校の推薦・連携型入学者選抜と盛岡市立高等学校の推薦入学者選抜に併願することはできない。

エ 一関第一高等学校（全日制課程）の入学決定通知書の交付を受けた者は、推薦入学者選抜に出願することはできない。

(6) 検査内容

ア 調査書、志願理由書及び面接

イ 高等学校によっては、小論文又は作文、適性検査を実施することができる。

（各高等学校各学科（学系・コース）の検査内容は、別に定める。）

(7) 選抜方法

上記（6）の検査の結果により行う。（各高等学校各学科（学系・コース）の選抜方法は別に定める。）

(8) 合格者への対応

ア 高等学校長は、合格者を対象とする学力調査を、3月6日（金）に実施する。

イ 調査教科は5教科（国語、数学、社会、英語、理科）とし、一般入学者選抜学力検査と同じ問題・時程で実施する。

なお、学力調査は、原則として一般入学者選抜学力検査と部屋を別にして実施する。

ウ 高等学校長は、合格者が正当な事由なく学力調査を欠席した場合、高校教育課長と協議の上、合格を取り消すことがある。

エ 学力調査の結果については、各高等学校が本人に通知する。

なお、通知の方法は各高等学校が定める。

2 一般入学者選抜

(1) 応募資格

次の各項のいずれかに該当する者

ア 令和2年3月に中学校等を卒業する見込みの者

イ 中学校等を卒業した者

ウ 学校教育法施行規則第95条の規定に該当する者

(2) 通学区域

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則による。

ア 普通科においては、学区による。

なお、普通科の専門コース・学系（不来方高等学校の人文理数学系及び花巻南高等学校の人文科学自然科学学系は除く。）については、全県学区とする。

イ 岩手県立高等学校の通学区域に関する規則第4条及び第5条の規定により、普通科の学区外許

容率は、定員の10%の範囲内とする。ただし、学区内からの出願者数が募集定員に満たないとき、学区外許容率は定員の10%を超えることができる。

ウ 東日本大震災津波の被災による志願者は、特別入学志願者取扱要領及び岩手県立高等学校の通学区域に関する規則第4条第5号の規定により対応する。

(3) 出願制限

ア 出願は、本校又は分校のいずれか1校に限るものとする。

イ 志願先高等学校に二つの課程(全日制、定時制)又は二つ以上の学科(学系、コース)がある場合には、第2、第3志望まで出願できる。

ただし、異なる適性検査を実施する学科(学系、コース)への出願は二つまでとする。

ウ 多部制の定時制課程においては、部の間で第2志望まで出願できる。

エ 推薦入学者選抜の合格者は、出願できない。

オ 盛岡市立高等学校の一般入学者選抜と併願することはできない。

カ 一般入学者選抜(定時制課程成人枠)及び連携型入学者選抜と併願することはできない。

キ 一関第一高等学校(全日制課程)の入学決定通知書の交付を受けた者は、出願できない。

(4) 検査内容

ア 学力検査(国語、数学、社会、英語、理科の5教科)

イ 調査書

ウ 面接

エ 高等学校によっては小論文又は作文、適性検査を実施

(5) 日程

ア 集 合 8:30

イ 学力検査 9:00~14:40(各教科50分)

ウ 面 接 学力検査終了後(高等学校によっては、小論文又は作文、適性検査を実施)

(6) 出題方針

中学校学習指導要領に示されている各教科の目標や内容に則し、基礎的・基本的な知識及び技能や、これらを活用して問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を検査できるようにする。

(7) 各検査の配点

| | | | |
|-------------------------|------|------|-------|
| 学力検査(5教科各100点満点) | 500点 | 500点 | 1000点 |
| 調査書(9教科の1・2・3年の評定) | 440点 | | |
| 面接、小論文又は作文、適性検査(実技等)の合計 | 60点 | | |

(8) 面接

自己アピールカード及び調査書を踏まえて実施する。

(9) 小論文又は作文

各高等学校長の判断により、小論文又は作文を課すことができる。

(10) 適性検査(実技)

体育科、体育コース、体育学系、芸術学系、スポーツ健康科学学系において実施する。

(該当校は、盛岡南高等学校、不来方高等学校、花巻南高等学校)

(11) 選抜方法

各高等学校長が次の7通りの選抜方法から選択・決定することとし、学校、学科(学系・コース)の特色に配慮しながら、その教育において必要とされる能力・適性等を総合的に判定して行う。選考にあたっては 選考Ⅰ → 選考Ⅱ → 選考Ⅲ の順で行うこととする。

| 選抜方法 | 選考Ⅰ | 選考Ⅱ | 選考Ⅲ |
|------|----------|---------|-----|
| ① | A選考 100% | | |
| ② | A選考 70% | B選考 30% | |

| | | | |
|---|---------|---------|---------|
| ③ | A選考 70% | B選考 20% | C選考 10% |
| ④ | A選考 70% | B選考 10% | C選考 20% |
| ⑤ | A選考 70% | C選考 30% | |
| ⑥ | A選考 70% | C選考 20% | B選考 10% |
| ⑦ | A選考 70% | C選考 10% | B選考 20% |

なお、ABCの各選考における[学力検査：調査書・面接等]の得点割合は、以下のとおりとする。

【A選考】 5 : 5 【B選考】 3 : 7 【C選考】 7 : 3

(12) 追検査

ア 対象者

次の各項のいずれかに該当する者で、3月6日（金）に実施する検査（以下「本検査」という。）を受検できない者

- (ア) 医療機関において医師からインフルエンザ等の診断を受け、本検査を受検できない者
- (イ) 本検査前日及び当日にインフルエンザ等の症状を発症し、本検査を受検できない者
- (ウ) その他真にやむを得ない事情により本検査を受検できない者

イ 受検の手続き

- (ア) 追検査の受検を志願する者は、医師の診断書を中学校長に提出する。
- (イ) 中学校長は、追検査志願者一覧及び各志願者の診断書等、本検査を受検できない事を証明する書類を、志願先高等学校長に提出する。

ウ 検査内容

本検査と同じとする。

なお、学力検査、小論文又は作文は、追検査用に用意したもので行う。

エ 日程及び実施内容

- (ア) 検査期日 令和2年3月12日（木）
- (イ) 検査場 志願先高等学校
- (ウ) 実施内容等 本検査と同じとする。

オ 選抜方法

本検査と追検査の成績は同等に扱い、本検査を受検した者と追検査を受検した者を一括して選抜する。

(13) 学力検査等の成績通知

ア 通知内容 教科別得点及び合計点、調査書の換算合計点、面接の得点

イ 通知方法

- (ア) 志願先高等学校長は、通知用封筒に学力検査等成績通知書を封入し、厳封の上で、受取確認表とあわせて当該中学校長あて送付する。（中学校での受取ができない者については、直接本人に送付する。）
- (イ) 中学校長は、厳封した状態の学力検査等成績通知書を志願者に手渡し、受取確認表に署名させる。また、3月31日（火）までに、次の書類を高等学校長あて返送する。
 - ・ 志願者が署名済みの受取確認表
 - ・ 志願者が受け取らなかった学力検査等成績通知書

ウ その他

本検査及び追検査を受検しなかった者には通知しない。

3 一般入学者選抜（定時制課程成人枠）

(1) 対象学科

定時制の全学科

- (2) 応募資格
 - 平成11年4月1日までに生まれた者で、次の各項のいずれかに該当する者
 - ア 中学校等を卒業した者
 - イ 学校教育法施行規則第95条の規定に該当する者
- (3) 募集人数
 - 若干名
- (4) 検査内容
 - ア 面接
 - イ 作文又は小論文
 - ウ 高等学校によっては、適性検査を実施することができる。

4 二次募集

- (1) 二次募集を行う学科（学系・コース）
 - 欠員が、定員の10%以上である学科（学系・コース）で実施する。ただし、欠員が定員の10%未満でも、学校の判断で実施することができる。
 - なお、杜陵高等学校は二次募集を行わない。
- (2) 応募資格
 - ア 令和2年度岩手県立高等学校一般入学者選抜（定時制課程成人枠含む）又は連携型入学者選抜、若しくは盛岡市立高等学校一般入学者選抜を受検し、合格しなかった者
 - イ やむを得ない事情で、令和2年度岩手県立高等学校一般入学者選抜（定時制課程成人枠含む）又は連携型入学者選抜、若しくは盛岡市立高等学校一般入学者選抜を受検しなかった者

5 連携型入学者選抜（軽米高等学校・葛巻高等学校）

- (1) 応募資格
 - 令和2年3月に連携型中学校（軽米高等学校は軽米町立軽米中学校。葛巻高等学校は葛巻町立葛巻中学校、葛巻町立小屋瀬中学校、葛巻町立江刈中学校）を卒業する見込みの者
- (2) 募集定員
 - 軽米高等学校及び葛巻高等学校の定員を上限とする。
- (3) 選抜内容
 - 国語、数学、社会、英語、理科の5教科に関する基礎学力を確認のうえ、連携型中学校長から提出された調査書及び面接の結果に基づき合格者を決定する。
 - なお、基礎学力の確認は、一般入学者選抜学力検査で使用する検査問題と同じ問題で実施する。

6 一関第一高等学校附属中学校からの入学（併設型中高一貫教育校）

- (1) 一関第一高等学校附属中学校の生徒が一関第一高等学校（全日制課程）に入学を希望する場合は、一関第一高等学校附属中学校長（以下「附属中学校長」という。）に入学願を提出する。ただし、入学を希望しない場合は、その旨を記載した書面（入学辞退届）を附属中学校長に提出する。
- (2) 附属中学校長は、入学願を一関第一高等学校長に提出する。
- (3) 入学願を提出した者については、一関第一高等学校（全日制課程）への入学者選抜を行わない。
- (4) 入学辞退届を提出した者については、当該年度において一関第一高等学校（全日制課程）に出願することはできない。ただし、一関第一高等学校長が認めた場合はこの限りでない。
- (5) 入学者の決定・発表
 - ア 一関第一高等学校長は、附属中学校長に「入学決定通知書」を送付する。
 - イ 入学決定者数の発表は、令和2年1月8日（水）に行う。
- (6) 入学決定通知書の交付を受けた者は、推薦入学者選抜及び一般入学者選抜に出願することはできない。

7 杜陵高等学校定時制の選抜

杜陵高等学校本校及び奥州校定時制の入学者選抜は、前期日程・後期日程で実施する。

- (1) 前期日程は、一般入学者選抜と同じ日程であり、定員は本校 100 名（1・2部 80 名、3部 20 名）、奥州校 60 名（昼間部 30 名、夜間部 30 名）である。
- (2) 後期日程は、二次募集と同日に実施し、定員は本校 60 名（1・2部 40 名、3部 20 名）、奥州校 20 名（昼間部 10 名、夜間部 10 名）である。
後期日程の願書は、杜陵高等学校本校及び奥州校で配付する。

8 通信制の選抜

杜陵高等学校本校及び奥州校通信制、宮古高等学校通信制の入学者選抜は、提出された書類、作文、面接によって行う。願書は、通信制について説明のうえ配付する。

9 県外からの志願者受入れ

(1) 実施方針

ア 次の（ア）～（ウ）の全てに該当する全日制・定時制の学科（学系・コース）において、県教育委員会と協議した上で、一般入学者選抜において実施する。

（ア）地域人材の育成やふるさと振興の視点から、学校と地域が連携する体制が整っていること。

（イ）入学後の居住環境について紹介できる体制が整っていること。

（ウ）県内生徒の学ぶ機会を妨げないと考えられること。

イ 開始から3年ごとに受入れの継続について県教育委員会と実施高等学校が協議する。

ウ 特定の部活動への参加を条件とする受入れは行わないものとする。

エ 一般入学者選抜で実施する。

(2) 通学区域の取扱い

ア 普通科では、学区外の志願者として扱う。

イ 普通科以外の学科では、「県外」（普通科の学区外の取扱いに準じる）の志願者として扱う。

(3) 実施校

| 学校名 | 学 科 | 募集定員 | 対象となる入学者選抜 |
|------|-------------|-------|-----------------|
| 平 舘 | 普通科、家政科学科 | 各 4 名 | 令和 2 年度～令和 4 年度 |
| 住 田 | 普通科 | 4 名 | |
| 遠 野 | 普通科 | 3 名 | |
| 遠野緑峰 | 生産技術科、情報処理科 | 各 4 名 | |
| 大 槌 | 普通科 | 8 名 | |

(4) 特例として県外からの志願者の受入れを実施する学校

上記（1）～（3）の実施校とは別に、特例として入学者数の制限を設けずに県外からの志願者の受入れを実施する学校については、次のとおりとする。

なお、通学区域の取扱いは学区内とする。

| 学校名 | 学 科 | 対象者 |
|------|-------|---------------------|
| 水沢農業 | 農業科学科 | 学校設定科目「馬学」の履修を希望する者 |
| 種 市 | 海洋開発科 | 志願者全て |
| 葛 巻 | 普通科 | 「くずまき山村留学生」の候補者 |
| 大 迫 | 普通科 | 「高校生おおはさま留学生」の候補者 |

令和2年度岩手県立高等学校入学者選抜実施概要一覧表

| No | 学校名 | 学 科 名 | 定員 | 推薦入学者選抜 | | | | 一般入学者選抜 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
|--------|-------|----------|-----|---------|------|---|----|---------|----|------------|-----|-----|-----------------|------|-------------------|-----------|------|--------------|----|-------|---|
| | | | | 実施の有無 | 応募資格 | 募集定員 | | 面接方法 | | 選抜順序・割合(%) | | | 小論文又は作文、適性検査の有無 | | 面接、小論文・作文、適性検査の配点 | | | 傾斜配点の有無とその内容 | | 県外受入れ | |
| | | | | | | % | 人 | 個人 | 集団 | I | II | III | 小論文 作文 | 適性検査 | 面接 | 小論文 作文 | 適性検査 | | | 有・無 | 人 |
| | | | | | | 学力検査:調査書・面接等 A=5:5 B=3:7 C=7:3 | | | | | | | | | | | 有・無 | | | 人 | |
| 学系・コース | | | | | | | | | | | | | 有・無 | 人 | | | | | | | |
| 1 | 盛岡第一 | 普通・理数 | 280 | 有 | A | 10 | 28 | ○ | | A70 | C30 | | | | 60 | | | 無 | | <<り募集 | |
| 2 | 盛岡第二 | 普通 | 200 | 有 | A | 10 | 20 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| 3 | 盛岡第三 | 普通 | 280 | 有 | A | 10 | 28 | ○ | | A70 | B10 | C20 | | | 60 | | | 無 | | | |
| 4 | 盛岡第四 | 普通 | 240 | 有 | A | 10 | 24 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| 5 | 盛岡北 | 普通 | 200 | 有 | A | 10 | 20 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| 6 | 盛岡南 | 普通 | 160 | 有 | A | 10 | 16 | ○ | | A70 | B30 | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 体育コース | 40 | 有 | A | 50 | 20 | ○ | | A70 | B30 | | 実技 | 40 | | 20 | | 無 | | | |
| | | 体育 | 40 | 有 | A | 50 | 20 | ○ | | A70 | B30 | | 実技 | 40 | | 20 | | 無 | | | |
| 7 | 不来方 | 普通 | 160 | 有 | A | 10 | 16 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 人文・理数 | 40 | 有 | A | 40 | 16 | ○ | | A70 | B30 | | 実技 | 10 | | 50 | | 無 | | | |
| | | 芸術 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 英語2倍 | 無 | | |
| | | 外国語 | 40 | 有 | A | 50 | 20 | ○ | | A70 | B30 | | 実技 | 30 | | 30 | | 無 | | | |
| 8 | 盛岡農業 | 動物科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 植物科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 食品科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 人間科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 環境科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| 9 | 盛岡工業 | 機械 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 電気 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 電子情報 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 電子機械 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 工業化学 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 土木 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 建築・デザイン | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| 10 | 盛岡商業 | 流通ビジネス | 80 | 有 | AB | 15 | 12 | ○ | | A70 | C20 | B10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 会計ビジネス | 80 | 有 | AB | 15 | 12 | ○ | | A70 | C20 | B10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 情報ビジネス | 80 | 有 | AB | 15 | 12 | ○ | | A70 | C20 | B10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| 11 | 沼宮内 | 普通 | 80 | 有 | A | 10 | 8 | ○ | | A100 | | | | 60 | | | 無 | | | | |
| 12 | 葛巻 | 普通 | 80 | 有 | A | 10 | 8 | ○ | | A100 | | | | 60 | | | 有 | 1 | ※1 | | |
| 13 | 平舘 | 普通 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B30 | | | | 60 | | | 有 | 4 | | |
| | | 家政科学 | 40 | 有 | AB | 10 | 4 | ○ | | A70 | B30 | | | | 60 | | | 有 | 4 | | |
| 14 | 雫石 | 普通 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | | |
| 15 | 紫波総合 | 総合 | 160 | 有 | AB | 15 | 24 | ○ | | A70 | B30 | | | | 60 | | | 無 | | | |
| 16 | 花巻北 | 普通 | 240 | 有 | A | 10 | 24 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| 17 | 花巻南 | 普通 | 120 | 有 | A | 10 | 12 | ○ | | A70 | C30 | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 人文・自然科学 | 40 | 有 | A | 50 | 20 | ○ | | A70 | B30 | | 実技 | 30 | | 30 | | 無 | | | |
| | | スポーツ健康科学 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A70 | C30 | | | | 60 | | | 英語2倍 | 無 | | |
| 18 | 花巻農業 | 生物科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 環境科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 食農科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| 19 | 花北青雲 | 情報工学 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | ビジネス情報 | 80 | 有 | A | 10 | 8 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 総合生活 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| 20 | 大迫 | 普通 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A100 | | | | 60 | | | 有 | 1 | | | |
| 21 | 黒沢尻北 | 普通 | 240 | 有 | A | 10 | 24 | ○ | | A70 | B10 | C20 | | | 60 | | | 無 | | | |
| 22 | 北上翔南 | 総合 | 200 | 有 | A | 10 | 20 | ○ | | A70 | B30 | | | | 60 | | | 無 | | | |
| 23 | 黒沢尻工業 | 機械 | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 数学2倍 | 無 | | |
| | | 電気 | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 数学2倍 | 無 | | |
| | | 電子 | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 数学2倍 | 無 | | |
| | | 電子機械 | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 数学2倍 | 無 | | |
| | | 土木 | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 数学2倍 | 無 | | |
| | | 材料技術 | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 数学2倍 | 無 | | |
| 24 | 西和賀 | 普通 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A100 | | | | 60 | | | 無 | | | | |
| 25 | 水沢 | 普通・理数 | 240 | 有 | A | 10 | 24 | ○ | | A70 | B20 | C10 | | | 60 | | | 無 | | <<り募集 | |
| 26 | 水沢農業 | 農業科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A70 | B30 | | | | 60 | | | 有 | 1 | | |
| | | 食品科学 | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | ○ | | A70 | B30 | | | | 60 | | | 無 | | | |
| 27 | 水沢工業 | 機械 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 電気 | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | 設備システム | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |
| | | インテリア | 40 | 有 | A | 10 | 4 | ○ | | A100 | | | | | 60 | | | 無 | | | |

| No | 学校名 | 学科名 | 学系・コース | 定員 | 推薦入学者選抜 | | | | 一般入学者選抜 | | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|----|------|----------|--------|-----|---------|------|-------------------------|----|---------|----|------------|-----|-----|-----------------|------|-------------------|-----------|------|--------------|----|-------|---|---|----------|
| | | | | | 実施の有無 | 応募資格 | 募集定員 | | 面接方法 | | 選抜順序・割合(%) | | | 小論文又は作文、適性検査の有無 | | 面接、小論文・作文、適性検査の配点 | | | 傾斜配点の有無とその内容 | | 県外受入れ | | | |
| | | | | | | | % | 人 | 個人 | 集団 | I | II | III | 小論文 作文 | 適性検査 | 面接 | 小論文 作文 | 適性検査 | | | 有 | 無 | 人 | |
| | | | | | | | A=5.5 B=3.7 C=7.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 水沢商業 | 商業 | | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 会計ビジネス | | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 情報システム | | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 29 | 前沢 | 普通 | | 80 | 有 | A | 10 | 8 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 30 | 金ヶ崎 | 普通 | | 80 | 有 | A | 10 | 8 | | ○ | A70 | C20 | B10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 31 | 岩谷堂 | 総合 | | 160 | 有 | AB | 15 | 24 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 32 | 一関第一 | 普通・理数 | | 200 | 有 | A | 10 | 20 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | <くり募集 ※2 |
| 33 | 一関第二 | 総合 | | 200 | 有 | A | 10 | 20 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 34 | 一関工業 | 電気電子 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | B10 | C20 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 電子機械 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | B10 | C20 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 土木 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | B10 | C20 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 35 | 花泉 | 普通 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | B10 | C20 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 36 | 大東 | 普通 | | 80 | 有 | A | 10 | 8 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 情報ビジネス | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 37 | 千厩 | 普通 | | 120 | 有 | A | 10 | 12 | | ○ | A70 | B10 | C20 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 生産技術 | | 40 | 有 | AB | 10 | 4 | | ○ | A70 | B10 | C20 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 産業技術 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | B10 | C20 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 38 | 高田 | 普通 | | 120 | 有 | A | 10 | 12 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 海洋システム | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 39 | 大船渡 | 普通 | | 160 | 有 | A | 10 | 16 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 40 | 大船渡東 | 農芸科学 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 機械電気 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 情報処理 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 食物文化 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 41 | 住田 | 普通 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 有 | 4 |
| 42 | 釜石 | 普通・理数 | | 160 | 有 | A | 10 | 16 | | ○ | A70 | C30 | | | | | 60 | | | | | | 無 | <くり募集 |
| 43 | 釜石商工 | 機械 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 電気電子 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 総合情報 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 44 | 遠野 | 普通 | | 160 | 有 | A | 10 | 16 | | ○ | A70 | B30 | | | | | 60 | | | | | | 有 | 3 |
| 45 | 遠野緑峰 | 生産技術 | | 40 | 有 | AB | 20 | 8 | | ○ | A70 | B30 | | | | | 60 | | | | | | 有 | 4 |
| | | 情報処理 | | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | | ○ | A70 | B30 | | | | | 60 | | | | | | 有 | 4 |
| 46 | 大槌 | 普通 | | 80 | 有 | A | 10 | 8 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 有 | 8 |
| 47 | 山田 | 普通 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 48 | 宮古 | 普通 | | 200 | 有 | A | 10 | 20 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 49 | 宮古北 | 普通 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 50 | 宮古商工 | 機械システム | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 電気システム | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 総合ビジネス | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 流通ビジネス | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 情報ビジネス | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 51 | 宮古水産 | 海洋生産 | | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 食物 | | 40 | 有 | AB | 15 | 6 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 52 | 岩泉 | 普通 | | 80 | 有 | AB | 10 | 8 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 53 | 久慈 | 普通 | | 160 | 有 | A | 10 | 16 | | ○ | A70 | B10 | C20 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 54 | 久慈東 | 総合 | | 200 | 有 | A | 10 | 20 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 55 | 久慈工業 | 電子機械 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | C30 | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 建設環境 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A70 | C30 | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 56 | 種市 | 普通 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 海洋開発 | | 40 | 有 | B | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 有 | - |
| 57 | 大野 | 普通 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 58 | 軽米 | 普通 | | 80 | 有 | A | 10 | 8 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | ※1 |
| 59 | 伊保内 | 普通 | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 60 | 福岡 | 普通 | | 160 | 有 | A | 10 | 16 | | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 61 | 福岡工業 | 機械システム | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| | | 電気情報システム | | 40 | 有 | A | 10 | 4 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |
| 62 | 一戸 | 総合 | | 120 | 有 | A | 10 | 12 | | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | | | 無 | |

| No | 学校名 | 学 科 名 | 定員 | 推薦入学者選抜実施の有無 | 一般入学者選抜 | | | | | | | | | | | 定時制課程成人枠 | | | | | | 備考 | | | | |
|----|------|-------|------|--------------|---------|-----|--------------|-------|-------|-----------------|-----|------|-------------------|-----|-----|----------|-------|------|------|-----|---------|----|---------|-------------------|------|----|
| | | | | | 面接方法 | | 選抜順序・割合(%) | | | 小論文又は作文、適性検査の有無 | | | 面接、小論文・作文、適性検査の配点 | | | 傾斜配点の有無 | 県外受入れ | | 面接方法 | | 作文又は小論文 | | 適性検査の有無 | 面接、作文・小論文、適性検査の配点 | | |
| | | | | | | | 学力検査・調査書・面接等 | A=5:5 | B=3:7 | C=7:3 | 小論文 | 作文 | 適性検査 | 面接 | 小論文 | | 作文 | 適性検査 | | | | | | 有 | 無 | 個人 |
| | | | | | 個人 | 集団 | I | II | III | 小論文 | 作文 | 適性検査 | 面接 | 小論文 | 作文 | 適性検査 | 有 | 無 | 個人 | 集団 | 面接 | | 作文 | 小論文 | 適性検査 | |
| 定1 | 杜陵 | 普通 | 1・2部 | 80 | 無 | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 60 | 40 | | ※3 | | | |
| | | | 3部 | 20 | 無 | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 60 | 40 | | | | | |
| | 杜陵奥州 | 普通 | 昼間部 | 30 | 無 | ○ | A70 | C20 | B10 | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 60 | 40 | | ※4 | | | |
| | | 夜間部 | 30 | 無 | ○ | A70 | C20 | B10 | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 60 | 40 | | | | | | |
| 定2 | 盛岡工業 | 工業 | | 40 | 無 | ○ | A70 | B20 | C10 | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 50 | 50 | | | | | |
| 定3 | 一関第一 | 普通 | | 40 | 無 | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 100 | 100 | | | | | |
| 定4 | 大船渡 | 普通 | | 40 | 無 | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 100 | 50 | | | | | |
| 定5 | 釜石 | 普通 | | 40 | 無 | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 100 | 50 | | | | | |
| 定6 | 宮古 | 普通 | | 40 | 無 | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 100 | 100 | | | | | |
| 定7 | 久慈長内 | 普通 | 昼間部 | 40 | 無 | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 100 | 50 | | | | | |
| | | | 夜間部 | 40 | 無 | ○ | A100 | | | | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 100 | 50 | | | | |
| 定8 | 福岡 | 普通 | | 40 | 無 | ○ | A100 | | | | | | 60 | | | | 無 | ○ | 作文 | 50 | 50 | | | | | |

注 この表中の定員は、「岩手県立高等学校の管理運営に関する規則」第3条第2項の規定により、志願者数(調整後)によっては、減ずることがある。

No.1～No.62は全日制課程、定1～定8は定時制課程である。

※1 定員には、連携型合格者数を含めるものとする。

※2 定員には、併設型中学校からの入学決定者数を含む。学区外最大入学者数は33人とする。

※3 定員は前期日程の定員であり、このほか後期日程の定員は、1・2部40人、3部20人である。

※4 定員は前期日程の定員であり、このほか後期日程の定員は、昼間部10人、夜間部10人である。

事務報告 4

第74回国民体育大会の結果について

| | 冬季大会 | 本大会 |
|-----------------|--|---|
| 1 期 日 | 【スケート・アイスホッケー】 平成31年1月30日～2月3日 【スキー】 平成31年2月14日～17日 | 【本大会】 令和元年9月28日～10月8日 【会期前競技(水泳)】 令和元年9月7日～16日 |
| 2 会 場 (正式競技) | 北海道 釧路市 札幌市 | 茨城県内 26市5町1村 |
| 3 参加人員 本県選手団 | 127人 (選手・監督・本部役員) | 575人 (選手・監督・本部役員) |

4 成績(冬季大会から本大会までの累計)

(1) 男女総合成績 (天皇杯)

31位 850点 (昨年度: 24位 939.5点 一昨年度: 14位 1,125点)

(2) 女子総合成績 (皇后杯)

31位 507.5点 (昨年度: 25位 555.5点 一昨年度: 12位 675.5点)

5 優勝者一覧 (冬季大会・本大会)

【冬季大会】 2競技2種目2人 ※昨年(1競技3種目3人) 一昨年(2競技5種目4人)

【本大会】 3競技3種目7人 ※昨年(7競技11種目12人) 一昨年(8競技8種目24人)

| No | 競技 | 種別 | 種 目 | 優 勝 者 |
|----|--------|------|----------|--|
| 1 | スケート | 少年女子 | スピード500m | 熊谷 萌 (盛岡工業高校) |
| 2 | スキー | 成年男子 | コンバインド | 三ヶ田 泰良 (明治大学) |
| 3 | アーチェリー | 成年女子 | | 岩淵 萌 (雫石町役場) 川淵 真弓 (びよんびよん舎) 小野寺まどか (近畿大学) |
| 4 | 弓道 | 成年男子 | 近的 | 菊池 治 (有限会社プラム工芸) 及川 睦夫 (株式会社一関LIXIL製作所) 高橋 昂大 (リコ-インターストリアルソリューションズ 株花巻事業所) |
| 5 | 陸上競技 | 成年男子 | 砲丸投 | 佐藤 征平 (新潟アルビレックスランニングクラブ) |

6 入賞数(冬季大会含む)

76種目 … 団体18、個人58

※昨年の国体(91種目 団体18個人73) 一昨年の国体(101種目 団体20個人81)

7 東北各県の総合成績 (上段：順位 下段：得点 ※冬季大会からの通算)

(1) 天皇杯順位・得点

| | 74回茨城 | 73回福井 | 72回愛媛 | 71回岩手 | 70回和歌山 | 69回長崎 | 68回東京 | 67回岐阜 | 66回山口 | 65回千葉 |
|----|--------------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 岩手 | 31 850.0 | 24 939.5 | 14 1,125.0 | 2 1,925.0 | 16 1,099.0 | 37 807.5 | 23 943.0 | 39 790.0 | 41 715.0 | 33 812.5 |
| 青森 | 45 694.0 | 42 692.5 | 35 827.5 | 40 759.5 | 40 722.5 | 43 758.5 | 34 840.0 | 40 770.5 | 29 913.5 | 29 880.0 |
| 秋田 | 44 707.5 | 38 787.5 | 20 989.0 | 37 817.5 | 38 774.5 | 42 769.0 | 39 774.5 | 36 814.0 | 19 971.0 | 28 881.5 |
| 宮城 | 28 882.5 | 30 859.0 | 34 842.0 | 24 948.0 | 23 956.5 | 25 934.0 | 21 955.0 | 25 905.0 | 20 962.5 | 19 1036.5 |
| 山形 | 32 848.00 | 34 817.25 | 31 873.5 | 26 929.0 | 36 801.5 | 30 870.0 | 19 974.5 | 28 883.0 | 42 713.0 | 36 788.5 |
| 福島 | 39 783.5 | 44 654.0 | 41 768.0 | 35 843.5 | 31 866.0 | 34 823.0 | 35 816.5 | 43 685.0 | 40 727.0 | 43 715.5 |

(2) 皇后杯順位・得点

| | 74回茨城 | 73回福井 | 72回愛媛 | 71回岩手 | 70回和歌山 | 69回長崎 | 68回東京 | 67回岐阜 | 66回山口 | 65回千葉 |
|----|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 岩手 | 31 507.5 | 25 555.5 | 12 675.5 | 2 981.0 | 16 598.0 | 33 450.0 | 27 483.0 | 40 408.0 | 39 390.0 | 37 427.5 |
| 青森 | 37 471.0 | 43 423.0 | 46 395.5 | 40 458.5 | 43 354.5 | 43 383.0 | 36 434.0 | 41 396.0 | 32 440.0 | 36 432.0 |
| 秋田 | 43 433.0 | 39 450.0 | 20 582.0 | 36 486.5 | 38 414.0 | 40 420.0 | 42 371.5 | 33 452.5 | 27 476.0 | 30 471.0 |
| 宮城 | 38 469.5 | 36 466.0 | 37 462.5 | 26 558.0 | 22 537.0 | 23 495.5 | 24 493.5 | 26 482.5 | 24 494.5 | 25 507.5 |
| 山形 | 23 568.00 | 23 575.25 | 25 541.5 | 23 566.0 | 39 410.5 | 32 453.5 | 23 508.5 | 27 480.0 | 33 434.5 | 23 519.5 |
| 福島 | 36 412.0 | 45 412.0 | 40 455.0 | 31 519.5 | 35 430.5 | 29 471.5 | 34 445.0 | 44 363.0 | 40 387.0 | 44 365.5 |

8 国民体育大会における岩手県順位の推移

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 回数 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 |
| 開催年 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 |
| 開催地 | 岩手 | 和歌山 | 鹿児島 | 千葉 | 茨城 | 三重 | 佐賀 | 青森 | 長野 | 宮崎 | 栃木 | 滋賀 | 島根 | 群馬 | 奈良 | 鳥取 | 山梨 | 沖縄 |
| 順位 | 1 | 7 | 9 | 13 | 20 | 22 | 29 | 11 | 19 | 21 | 23 | 19 | 16 | 25 | 15 | 23 | 20 | 28 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|-----|----|----|----|------|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 回数 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 |
| 開催年 | 63 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 開催地 | 京都 | 北海道 | 福岡 | 石川 | 山形 | 徳島香川 | 愛知 | 福島 | 広島 | 大阪 | 神奈川 | 熊本 | 富山 | 宮城 | 高知 | 静岡 | 埼玉 | 岡山 |
| 順位 | 29 | 25 | 22 | 28 | 32 | 35 | 44 | 30 | 42 | 30 | 24 | 30 | 36 | 38 | 43 | 37 | 39 | 42 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----------|----|----|--------------|
| 回数 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 |
| 開催年 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 令1 |
| 開催地 | 兵庫 | 秋田 | 大分 | 新潟 | 千葉 | 山口 | 岐阜 | 東京 | 長崎 | 和歌山 | 岩手 | 愛媛 | 福井 | 茨城 |
| 順位 | 34 | 34 | 36 | 39 | 33 | 41 | 39 | 23 | 37 | 16 | 2 | 14 | 24 | 31 |

報告 1

会計年度任用職員である技能職員等の給与に関する規則に関する専決処理の報告について

次のとおり、会計年度任用職員である技能職員等の給与に関する規則を令和元年10月18日専決処理したから、報告する。

会計年度任用職員である技能職員等の給与に関する規則

(目的)

第1条 この規則は、会計年度任用職員の給与等に関する条例（平成31年岩手県条例第6号。以下「条例」という。）第29条に規定する技能職員等（以下「技能職員等」という。）の給与に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 この規則において「技能職員等」とは、技能職員等の給与に関する規則（昭和32年岩手県規則第51号。以下「給与規則」という。）第2条の規定の例による。

(給料)

第3条 給料については、会計年度任用職員である技能職員等の給与に関する規則（令和元年岩手県規則第39号。以下「会計年度任用技能職員等給与規則」という。）の規定の例による。

(諸手当)

第4条 諸手当（次条及び第6条に定めるものを除く。）については、会計年度任用技能職員等給与規則の規定の例による。

(特殊勤務手当)

第5条 特殊自動車運転作業手当は、紫波総合高等学校、岩谷堂高等学校、千厩高等学校、大船渡東高等学校、釜石商工高等学校、遠野緑峰高等学校、久慈東高等学校、一戸高等学校、農業高等学校又は工業高等学校に勤務する技能職員等が、給与規則第7条の8第1項各号に規定する作業に従事したときに、支給する。

2 高所作業手当は、盛岡農業高等学校、花巻農業高等学校又は一戸高等学校に勤務する技能職員等が、給与規則第7条の9の規定により読み替えてその例によることとされた一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例（昭和31年岩手県条例第52号）第9条の14第1項に規定する作業に従事したときに、支給する。

3 社会福祉施設等勤務手当については、技能職員等の給与に関する規則（昭和32年岩手県教育委員会規則第13号。以下「教委技能職員等給与規則」という。）第2条第2項の規定の例による。

4 前3項に定めるもののほか、特殊勤務手当（次条に定めるものを除く。）については、会計年度任用技能職員等給与規則の規定の例による。

第6条 早出勤務手当については、教委技能職員等給与規則第3条の規定の例による。

(給与の支給及び退職手当)

第7条 給与の支給及び退職手当については、会計年度任用技能職員等給与規則の規定の例による。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

令和元年11月18日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

報告 2

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則に関する専決処理の報告について

次のとおり、岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則を令和元年10月28日専決処理したから、報告する。

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（昭和32年岩手県教育委員会規則第3号）の一部を次のように改正する。

| 改正前 | | | | | | | | 改正後 | | | | | | | |
|---|----|------------|----------|--------|-----|--------|-----|---|----|------------|----------|--------|-----|--------|--|
| 別表第1 高等学校の全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程の学級編制（第3条関係） | | | | | | | | 別表第1 高等学校の全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程の学級編制（第3条関係） | | | | | | | |
| 学校名 | 区分 | 全日制の課程 | | 定時制の課程 | | 通信制の課程 | | 学校名 | 区分 | 全日制の課程 | | 定時制の課程 | | 通信制の課程 | |
| | | 学科名 | 学級数 | 学科名 | 学級数 | 学科名 | 学級数 | | | 学科名 | 学級数 | 学科名 | 学級数 | | |
| [略] | | | | | | | | [略] | | | | | | | |
| 岩手県立盛岡第四高等学校 | | 普通科 | 20 | [略] | | | | 岩手県立盛岡第四高等学校 | | 普通科 | 19 | [略] | | | |
| 岩手県立盛岡北高等学校 | | 普通科 | 18 | [略] | | | | 岩手県立盛岡北高等学校 | | 普通科 | 17 | [略] | | | |
| [略] | | | | | | | | [略] | | | | | | | |
| 岩手県立平舘高等学校 | | 普通科 [略] | 5 [略] | [略] | | | | 岩手県立平舘高等学校 | | 普通科 [略] | 4 [略] | [略] | | | |
| 岩手県立雫石高等学校 | | 普通科 | 4 | [略] | | | | 岩手県立雫石高等学校 | | 普通科 | 3 | [略] | | | |
| 岩手県立紫波総合高等学校 | | 総合学科 | 15 | [略] | | | | 岩手県立紫波総合高等学校 | | 総合学科 | 14 | [略] | | | |
| [略] | | | | | | | | [略] | | | | | | | |
| 岩手県立北上翔南高等学校 | | 総合学科 | 18 | [略] | | | | 岩手県立北上翔南高等学校 | | 総合学科 | 17 | [略] | | | |
| [略] | | | | | | | | [略] | | | | | | | |
| 岩手県 | | 普通科 | 4 | [略] | | | | 岩手県 | | 普通科 | 3 | [略] | | | |

| | | | | |
|--------------|-------------------|---------------|-----|-----|
| 立西和賀高等学校 | | | | |
| [略] | | | | |
| 岩手県立水沢農業高等学校 | [略] | [略] | [略] | [略] |
| | 食品科 | 2 | | |
| | 環境工学科 | 1 | | |
| | 生活科 | 1 | | |
| | 学科 | | | |
| [略] | | | | |
| 岩手県立金ヶ崎高等学校 | 普通科 | 9 | | [略] |
| 岩手県立岩谷堂高等学校 | 総合学科 | 14 | | [略] |
| 岩手県立一関第一高等学校 | 普通科 [略] | 15 [略] | | [略] |
| 岩手県立一関第二高等学校 | 総合学科 | 16 | | [略] |
| 岩手県立一関工業高等学校 | 電気科 電子科 [略] | 3 3 [略] | | [略] |
| [略] | | | | |
| 岩手県立大東高等学校 | 普通科 [略] | 8 [略] | | [略] |
| [略] | | | | |
| 岩手県 | 普通科 | 12 | | [略] |

| | | | | |
|--------------|----------------------------|--------------------|-----|-----|
| 立西和賀高等学校 | | | | |
| [略] | | | | |
| 岩手県立水沢農業高等学校 | [略] | [略] | [略] | [略] |
| | 食品科 | 3 | | |
| | 学科 | | | |
| [略] | | | | |
| 岩手県立金ヶ崎高等学校 | 普通科 | 8 | | [略] |
| 岩手県立岩谷堂高等学校 | 総合学科 | 13 | | [略] |
| 岩手県立一関第一高等学校 | 普通科 [略] | 14 [略] | | [略] |
| 岩手県立一関第二高等学校 | 総合学科 | 15 | | [略] |
| 岩手県立一関工業高等学校 | 電気科 電気電子科 電子科 [略] | 2 1 2 [略] | | [略] |
| [略] | | | | |
| 岩手県立大東高等学校 | 普通科 [略] | 7 [略] | | [略] |
| [略] | | | | |
| 岩手県 | 普通科 | 11 | | [略] |

| | | | | |
|------------------------|--|-----|----|-----|
| [略] | | | | |
| 岩手県 立福岡 高等学 校 | | 普通科 | 14 | [略] |
| [略] | | | | |

備考1 [略]

2 岩手県立水沢農業高等学校の環境工学科及び生活
科学科並びに岩手県立釜石商工高等学校の電子機械
科については、平成30年度以後の入学に係る生徒の
募集を停止する。

3 [略]

| | | | | |
|------------------------|--|-----|----|-----|
| [略] | | | | |
| 岩手県 立福岡 高等学 校 | | 普通科 | 13 | [略] |
| [略] | | | | |

備考1 [略]

2 [略]

3 岩手県立一関工業高等学校の電気科及び電子科並
びに岩手県立宮古商工高等学校の機械科、電気電子
科、建築設備科、商業科、流通経済科、会計科及び
情報科については、令和2年度以後の入学に係る生
徒の募集を停止する。

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

令和元年11月18日提出

岩手県教育委員会教育長 佐藤 博

議案第15号

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則（昭和32年岩手県教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|--|
| <p>(出願の特例等)</p> <p>第4条 次の各号のいずれかに該当する者は、前条の規定にかかわらず、同条の規定により出願すべき高等学校以外の高等学校に出願することができる。</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 岩手県立盛岡南高等学校の体育コース、岩手県立不来方高等学校の体育学系、芸術学系及び外国語学系、<u>岩手県立花巻南高等学校のスポーツ健康科学学系及び国際科学学系並びに岩手県立西和賀高等学校の福祉・情報コース</u>を履修しようとする者</p> <p>(3)～(6) [略]</p> | <p>(出願の特例等)</p> <p>第4条 次の各号のいずれかに該当する者は、前条の規定にかかわらず、同条の規定により出願すべき高等学校以外の高等学校に出願することができる。</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 岩手県立盛岡南高等学校の体育コース、岩手県立不来方高等学校の体育学系、芸術学系及び外国語学系<u>並びに岩手県立花巻南高等学校のスポーツ健康科学学系及び国際科学学系</u>を履修しようとする者</p> <p>(3)～(6) [略]</p> |
| <p>備考 改正部分は、下線の部分である。</p> | |

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

令和元年11月18日提出

岩手県教育委員会教育長 佐藤 博

理由

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものである。これが、この規則案を提出する理由である。

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則案要綱

第1 改正の趣旨

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部改正に伴い、所要の改正をするものである。

第2 規則案の内容

岩手県立西和賀高等学校の福祉・情報コースの廃止に伴い、学区外の出願の特例に係る規定から、同コースを削ること。(第4条関係)

第3 施行期日

この規則は、令和2年4月1日から施行すること。(附則関係)

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について

1 改正の内容

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部改正により、岩手県立西和賀高等学校の福祉・情報コースが廃止となることから、所要の改正をするものである。

2 改正の経緯

新たな県立高等学校再編計画（平成 28 年 3 月策定）に基づき、平成 29 年度に実施した平成 30 年度学級編制において、西和賀高等学校について、入学者の減少等を踏まえ、普通科 2 学級を 1 学級に学級減し、併せて普通科の福祉・情報コースの募集を停止した。

学年進行により、今年度末をもって当該コースの在籍者が卒業することから、学区外からの出願を特例として認めている通学区域に関する規則第 4 条第 2 号中の同校コースを削除するものである。

なお、福祉・情報コースの廃止後は、普通科の選択科目として「福祉」を学べることとしている。

【参考 1】平成 30 年度コースの見直し内容について

| 学 校 | 再編計画 | 検討の方向 |
|-----|-------------------------------------|--|
| 西和賀 | 平成 30 年度 コース見直し 1 学年 2 学級 → 1 学級 | 福祉は科目選択により学べるよう見直し。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">普通科 普通科 福祉・情報コース</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">普通科</div> </div> |

【参考 2】西和賀高校の学級編制状況について

| 学 科 コ ー ス | 定 員 | 平成 27 年度 | | 平成 28 年度 | | 平成 29 年度 | | 平成 30 年度 | | 令和元年度 | |
|--------------|--------|----------|-----|----------|-----|----------|-----|----------|-----|-------|-----|
| | | 入学者 | 過不足 | 入学者 | 過不足 | 入学者 | 過不足 | 入学者 | 過不足 | 入学者 | 過不足 |
| 普 通 | 40 | 15 | ▲25 | 32 | ▲8 | 20 | ▲20 | 39 | ▲1 | 36 | ▲4 |
| 福祉・情報 | (40)0 | 10 | ▲30 | 12 | ▲28 | 9 | ▲31 | - | - | - | - |
| 計 | (80)40 | 25 | ▲55 | 44 | ▲36 | 29 | ▲51 | 39 | ▲1 | 36 | ▲4 |

※ 定員欄のうち、() は平成 29 年度までの定員数

3 施行期日

令和 2 年 4 月 1 日

(出願)

第 3 条 高等学校に就学（入学、転学及び転籍をいう。）しようとする者は、その者の在学する中学校若しくは義務教育学校又は卒業した中学校若しくは義務教育学校の所在地の属する学区内の高等学校に出願しなければならない。

2 [略]

(出願の特例等)

第 4 条 次の各号のいずれかに該当する者は、前条の規定にかかわらず、同条の規定により出願すべき高等学校以外の高等学校に出願することができる。

- (1) 高等学校の全日制の課程の普通科及び理数科を履修しようとする者以外の者
- (2) 岩手県立盛岡南高等学校の体育コース、岩手県立不来方高等学校の体育学系、芸術学系及び外国語学系、岩手県立花巻南高等学校のスポーツ健康科学学系及び国際科学学系並びに岩手県立西和賀高等学校の福祉・情報コースを履修しようとする者
- (3) 推薦による選抜により高等学校第 1 学年に入学しようとする者
- (4) 第 2 次募集により高等学校第 1 学年に入学しようとする者
- (5) 保護者の居住地等を考慮して止むを得ない理由があると県教育委員会が認めた者
- (6) 前 3 号に掲げる者のほか、高等学校第 1 学年に入学しようとする者のうち特に希望する者

4 前期再編プログラム総括表

| 計画期間(H28～H32 5年間) | | | | | |
|--------------------------|----------|-------------|-----------------------------|--|---|
| タイプ 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 |
| 専門高校 | | | | | |
| 総合的な 専門高校 | | | | | 宮古商業 宮古工業 |
| 普通科 専門 学科併置校 | | | | | 遠野 遠野緑峰 |
| 総合学科 専門 学科併置高校 | | | | | 久慈東 久慈工業 |
| 普通高校 | | ※ 表外(2)のとおり | | | |
| 学科改編 コース等見直し (学級減) | | | 西和賀 水沢農業 一関第二 釜石商工 | 平館 花巻南 水沢工業 大船渡東 宮古水産 | 不来方 盛岡工業 紫波総合 花北青雲 北上翔南 一関工業 一戸 |
| 学級減 | | 大槌 伊保内 | 葛巻 大船渡 種市 | 盛岡第四 前沢 大東 山田 大野 久慈 福岡 | 盛岡第三 盛岡北 一関第一 高田 釜石 宮古 |
| 全日制学校数 | 63 | 63 | 63 | 63 | 60 |
| 全日制学級数 | 255 | 253 | 245 | 233 | 216 |
| (定時制) | | | 宮古ブロック | 盛岡ブロック | |

- (1) 統合予定校では、地方創生に向けたそれぞれの地域の取組の推移や、平成 30 年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期等について検討します。
- (2) 1 学年 1 学級の普通高校では、直近の入学者数が 2 年連続して 20 人以下となった場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合します。
- (3) 学科改編、学級減等は、原則として再編計画に基づき実施しますが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討します。

議案第16号

岩手県いじめ問題対策委員会委員の任命に関し議決を求めることについて

次のとおり岩手県いじめ問題対策委員会委員を任命することについて、議決を求める。

任命（令和2年1月12日付）

| 職 名 等 | 氏 名 |
|---------------------------------|---------|
| 公立大学法人岩手県立大学 副学長 | 石 堂 淳 |
| 国立大学法人岩手大学 教育学部 准教授 | 菊 地 洋 |
| 太田秀栄法律事務所 弁護士 | 太 田 秀 栄 |
| 山中法律事務所 弁護士 | 山 中 俊 介 |
| 社団医療法人法成会 平和台病院 医師 | 伊 藤 欣 司 |
| 一般財団法人岩手済生医会 三田記念病院 医師 | 星 克 仁 |
| 臨床心理士 | 高 橋 昇 |
| 臨床心理士 | 上 野 久仁子 |
| イーハトーブ地域包括支援センター 主任介護支援専門員 | 鈴 木 智 之 |
| 社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 地域福祉活動コーディネーター | 川 崎 舞 美 |

令和元年11月18日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

理由

岩手県いじめ問題対策委員会委員の任命をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県いじめ問題対策委員（案）

（任期：R2. 1. 12～R4. 1. 11）

| 分野 | 職 名 等 | 氏 名 | 年齢 | 性別 | 居住地 | 年数 | 兼任 |
|-------|------------------------------------|-------------------------|----|----|-----|----|----|
| 学識経験者 | 公立大学法人岩手県立大学 副学長 | いし とう じゅん 石 堂 淳 | 62 | 男 | 盛岡市 | 3期 | 有 |
| | 国立大学法人岩手大学 教育学部 准教授 | きく ち ひろし 菊 地 洋 | 48 | 男 | 盛岡市 | 2期 | 無 |
| 弁護士 | 太田秀栄法律事務所 弁護士 | おお た しゅう えい 太 田 秀 栄 | 61 | 男 | 盛岡市 | 3期 | 有 |
| | 山中法律事務所 弁護士 | やま なか しゅん すけ 山 中 俊 介 | 45 | 男 | 盛岡市 | 3期 | 無 |
| 医師 | 社団医療法人法成会 平和台病院 医師 | い とう きん じ 伊 藤 欣 司 | 58 | 男 | 盛岡市 | 3期 | 無 |
| | 一般財団法人岩手済生医会 三田記念病院 医師 | ほし かつ ひと 星 克 仁 | 49 | 男 | 盛岡市 | 3期 | 有 |
| 臨床心理士 | 臨床心理士 | たか はし のぼる 高 橋 昇 | 63 | 男 | 奥州市 | 3期 | 無 |
| | 臨床心理士 | うえ の く に こ 上 野 久仁子 | 39 | 女 | 盛岡市 | 新任 | 無 |
| 社会福祉士 | イーハトーブ地域包括支援センター 主任介護支援専門員 | すず き とも ゆき 鈴 木 智 之 | 41 | 男 | 盛岡市 | 2期 | 無 |
| | 社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 地域福祉活動コーディネーター | かわ ぎき まい み 川 崎 舞 美 | 39 | 女 | 盛岡市 | 新任 | 無 |

※年齢：令和2年1月12日現在

| チェック項目 | 平成30年1月現在 | 今回 |
|----------------------------------|--------------------|--------------------|
| ◎委員数【10人以内】 | 10人(新任2人) | 10人(新任2人) |
| ◎男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならないこと | 男：女 90.0%：10.0% | 男：女 80.0%：20.0% |
| ◎若手委員（50歳未満）【25%以上とすること】 | 40.0% | 60.0% |
| ◎委員の平均年齢 | 53.6歳 | 50.5歳 |
| ◎在任期間8年超 | なし | なし |

関係条例

岩手県いじめ問題対策委員会条例をここに公布する。

平成27年10月28日

岩手県知事 達 増 拓 也

岩手県条例第72号

岩手県いじめ問題対策委員会条例

(設置)

第1条 いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号。以下「法」という。）第14条第3項の規定に基づき、岩手県いじめ問題対策委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 法第12条の規定により定められた岩手県いじめ防止等のための基本的な方針に基づくいじめの防止等のための対策について調査審議すること。
- (2) 法第24条の規定による調査を行うこと。
- (3) 法第28条第1項の規定による調査を行うこと。

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって組織し、委員は、法律、医療、心理、福祉等に関し学識経験のある者のうちから教育委員会が任命する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選とする。

- 2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(専門委員)

第5条 委員会に、専門の事項を調査審議させるため、専門委員を置くことができる。

- 2 専門委員は、当該専門の事項に関して十分な知識又は経験を有する者のうちから教育委員会が任命する。
- 3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員及び議事に関係のある専門委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席した委員及び議事に関係のある専門委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第7条 委員会に、部会を置くことができる。

- 2 部会は、委員長の指名する委員及び専門委員をもって組織する。
- 3 委員会は、その定めるところにより、部会の議決をもって委員会の議決とすることができる。
- 4 第4条及び前条の規定は、部会について準用する。

(意見の聴取等)

第8条 委員会は、必要に応じて議事に関係のある者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(秘密を守る義務)

第9条 委員及び専門委員は、職務上知ることのできた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、教育委員会の事務局において処理する。

(補則)

第11条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第17号

教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて

次のとおり教育表彰の受賞者を決定することについて、議決を求める。

事績顕著者

1 学校教育分野（21人、3団体）

【学校教育】

多年にわたり優れた学校教育活動に取り組み、教育の振興に顕著な成果を挙げた。

- (1) きたかみしりつうえのちゅうがっこうすいそうがくぶ
北上市立上野中学校吹奏楽部
- (2) いわてけんりつみずさわこうとうがっこうぶんげいたんしふ
岩手県立水沢高等学校文芸・短詩部

【学校保健】

[学校保健安全教育]

多年にわたり優れた保健指導等に取り組み、教育の振興に顕著な成果を挙げた。

- (1) くじしりつみさきちゅうがっこう
久慈市立三崎中学校

[学校医]

多年にわたり学校医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

- (1) こばやし やすひろ
小林 泰宏
- (2) まえた はるお
前多 治雄
- (3) もり としろう
森 敏郎
- (4) かしわばら としふみ
柏原 紀文
- (5) おだしま しょうじ
小田島 祥司
- (6) いわま みつる
岩間 充

(7) おりそ せいぞう
折祖 清蔵

(8) いたう しゅんや
伊藤 俊也

[学校歯科医]

多年にわたり学校歯科医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

(1) ちば こうき
千葉 晃揮

(2) ささき てつまさ
佐々木 哲正

(3) さとう けいしろう
佐藤 圭士郎

(4) おぼら としひろ
小原 敏宏

(5) むらかみ なおみ
村上 直美

(6) さとう ひろゆき
佐藤 博幸

(7) むらた まさあき
村田 昌明

(8) おの れいこ
小野 玲子

[学校薬剤師]

多年にわたり学校薬剤師として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

(1) うめむら かずこ
梅村 和子

(2) たなか ひろこ
田中 博子

(3) ちば なおこ
千葉 直子

(4) なかの まさひろ
中野 雅弘

【部活動等の指導者】

多年にわたり部活動の指導者として生徒の育成指導に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

- (1) 植津 うえつ よしのり 悦典

2 社会教育分野（1人、7団体）

【社会教育活動の指導者】

多年にわたり青少年等の健全育成に尽力し、社会教育の振興に多大の貢献をした。

- (1) 三浦 みうら やすはる 保治

【PTA団体】

多年にわたり優れたPTA活動を実践し、児童生徒の健全育成と社会教育の振興に多大の貢献をした。

- (1) おやまひがしちえん 小山東幼稚園PTA
- (2) とおきたしょうがっこう 遠野北小学校PTA
- (3) いちのせきしりつかざわしょうがっこう 一関市立金沢小学校PTA
- (4) とよまねちゅうがっこう 豊間根中学校PTA
- (5) ひろのちょうりつおおのしょうがっこう 洋野町立大野小学校PTA
- (6) いわてけんりつもおかこうぎょうこうとうがっこう 岩手県立盛岡工業高等学校PTA
- (7) いわてけんりついぼないこうとうがっこう 岩手県立伊保内高等学校PTA

3 教育行政分野（12人）

多年にわたり教育行政の推進に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

- (1) 八重樫 やえがし まさる 勝

- (2) たかはし よしゆき
高橋 嘉行
- (3) たぐち じゅんいち
田口 淳一
- (4) くまがい まさひで
熊谷 雅英
- (5) むらき よしこ
村木 佳子
- (6) つちや みほこ
土谷 美保子
- (7) ひらさわ かつろう
平澤 勝郎
- (8) たくみ じゅん
侘美 淳
- (9) おぼら よしのり
小原 善則
- (10) いたう こうじ
伊藤 晃二
- (11) いたう かつゆき
伊東 勝幸
- (12) すがなみ としみ
菅波 俊美

令和元年11月18日提出

岩手県教育委員会教育長 佐藤 博

理由

教育表彰として小林泰宏ほか33人及び北上市立上野中学校吹奏楽部ほか9団体を表彰しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

議案第17号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて

事績顕著者の主な功績の内容は以下のとおり

1 学校教育分野〔21人、3団体〕

(1) 学校教育〔2団体〕

| 団体名 | 功績の内容 |
|--------------------------|---|
| 北上市立 上野中学校 吹奏楽部 | <p>【活動歴】36年</p> <p>【受賞歴】第66回全日本吹奏楽コンクール金賞（平成30年度） 全日本吹奏楽コンクール第61回東北大会金賞（平成30年度）ほか</p> <p>地域での演奏ボランティア活動に継続して取り組むとともに、「全日本吹奏楽コンクール東北大会」で5年連続となる金賞に輝いたほか、平成30年度に開催された「第66回全日本吹奏楽コンクール」において、県勢初となる金賞を受賞するなど顕著な成果を挙げた。</p> |
| 岩手県立 水沢高等学校 文芸・短詩部 | <p>【活動歴】93年</p> <p>【受賞歴】平成30年度全国高等学校文芸コンクール俳句部門 最優秀賞 平成30年度全国高等学校俳句選手権大会 団体奨励賞 ほか</p> <p>日頃から高い意識で創作活動に励みながら、県外の学校との交流を行うなど幅広い活動を展開するとともに、各種コンクールに積極的に出品し、「全国高等学校文芸コンクール」では、平成30年度に俳句部門で最優秀賞、文芸部誌部門では、平成25年度から5年連続となる優良賞を受賞するなど顕著な成果を挙げた。</p> |

(2) 学校保健〔1団体、20人〕

ア 学校保健安全教育

| 団体名 | 功績の内容 |
|---------------|--|
| 久慈市立 三崎中学校 | <p>【活動歴】16年</p> <p>【受賞歴】平成30年度優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰</p> <p>生徒の体力向上、肥満度の改善及び生活習慣の定着に向けて、全校生徒による朝トレーニングや生活習慣意識調査、食育等を連携させた取組を推進するなど、多年にわたり優れた保健指導等に取り組み、顕著な成果を挙げた。</p> |

イ 学校医〔8人〕

多年にわたり学校医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

- ① 小林 泰 宏 (81歳) 盛岡市
- ② 前 多 治 雄 (71歳) 盛岡市
- ③ 森 敏 郎 (67歳) 盛岡市
- ④ 柏 原 紀 文 (68歳) 遠野市
- ⑤ 小田島 祥 司 (70歳) 北上市
- ⑥ 岩 間 充 (61歳) 宮古市
- ⑦ 折 祖 清 蔵 (66歳) 盛岡市
- ⑧ 伊 藤 俊 也 (56歳) 大船渡市

ウ 学校歯科医〔8人〕

多年にわたり学校歯科医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

- ① 千葉 晃 揮 (64歳) 盛岡市
- ② 佐々木 哲 正 (68歳) 盛岡市
- ③ 佐藤 圭士郎 (58歳) 遠野市
- ④ 小原 敏 宏 (66歳) 北上市
- ⑤ 村上 直 美 (68歳) 奥州市
- ⑥ 佐藤 博 幸 (58歳) 一関市
- ⑦ 村田 昌 明 (66歳) 野田村
- ⑧ 小野 玲 子 (62歳) 盛岡市

エ 学校薬剤師〔4人〕

多年にわたり学校薬剤師として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

- ① 梅村 和 子 (66歳) 盛岡市
- ② 田中 博 子 (66歳) 遠野市
- ③ 千葉 直 子 (67歳) 一関市
- ④ 中野 雅 弘 (62歳) 大船渡市

(3) 部活動等の指導者〔1人〕

| 氏 名 | 所 属 | 功 績 の 内 容 |
|-------------|-----------------------|---|
| 植津 悦典 (39歳) | 盛岡工業高等学校 (スケート部顧問) | 【活動歴】16年 【受賞歴】平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰 多年にわたりスケート部の指導者として生徒の育成指導に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。 |

2 社会教育分野〔1人、7団体〕

(1) 社会教育活動の指導者〔1人〕

| 氏 名 | 功 績 の 内 容 |
|-----------------|--|
| 三浦 保治 (84歳) 矢巾町 | 【活動歴】20年【主な経歴】岩手県子ども会育成連合会会長 多年にわたり岩手県子ども会育成連合会等の活動を通じて青少年の健全育成に尽力し、社会教育の振興に多大の貢献をした。 |

(2) P T A 団 体 [7 団 体]

| No. | 団 体 名 | 功 績 の 内 容 |
|-----|------------------------|--|
| 1 | 小山東幼稚園 P T A (奥州市) | <p>【活動歴】 32 年</p> <p>園が実施する各種行事や伝統芸能の伝承活動を積極的に支援するとともに、保護者やその家族を対象とした講演会や、各学年 P T A による家庭教育に関する学習会等の開催により、広く家庭における教育力向上に取り組むなど、社会教育の振興に多大の貢献をした。</p> |
| 2 | 遠野北小学校 P T A (遠野市) | <p>【活動歴】 48 年 【受賞歴】 平成 30 年度岩手県 P T A 連合会年次表彰</p> <p>学校と連携して「まなびフェスト」の達成に向けた取組を推進するとともに、学校・保護者・地域と連携した少年消防クラブ活動に長年にわたり取り組むなど、社会教育の振興に多大の貢献をした。</p> |
| 3 | 一関市立 金沢小学校 P T A | <p>【活動歴】 38 年 【受賞歴】 令和元年度日本 P T A 全国協議会会長表彰</p> <p>生活時間とメディア視聴時間を調査し、親子の対話時間をつくる「おしゃべりウィーク」の取組を推進するとともに、地域と連携して実施する県外小学校との交流活動を通じ、長年にわたり児童の健全育成に取り組むなど、社会教育の振興に多大の貢献をした。</p> |
| 4 | 豊間根中学校 P T A (山田町) | <p>【活動歴】 72 年</p> <p>家庭教育の充実にも資する多様な親子事業や地域団体と連携した健全育成活動を展開するとともに、「情報モラル講演会」を継続して開催し、家庭における情報モラル教育の充実に取り組むなど、社会教育の振興に多大の貢献をした。</p> |
| 5 | 洋野町立 大野小学校 P T A | <p>【活動歴】 72 年 【受賞歴】 平成 25 年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰</p> <p>地域の人材等を活用した学校支援活動を推進するとともに、中学校と連携した家庭におけるメディアコントロール週間の取組や、体験型の「親子で学ぶ情報モラル講座」の開催により、児童の生活習慣の確立に取り組むなど、社会教育の振興に多大の貢献をした。</p> |
| 6 | 岩手県立盛岡工業 高等学校 P T A | <p>【活動歴】 70 年 【受賞歴】 平成 30 年度全国高等学校 P T A 連合会会長表彰 (団体表彰)</p> <p>P T A が主催する進路学習会の開催や文化祭で母親委員会が中心となって運営するママカフェの取組等、学校と連携し多様な P T A 活動を推進するとともに、P T A 活動への参加率の向上に向けて積極的に取り組むなど、社会教育の振興に多大の貢献をした。</p> |
| 7 | 岩手県立伊保内 高等学校 P T A | <p>【活動歴】 46 年 【受賞歴】 平成 30 年度全国高等学校 P T A 連合会会長表彰 (団体表彰)</p> <p>地域行事に生徒と P T A が一体となって参加する活動や、文化祭での食堂やバザーの運営等、学校と連携し多様な P T A 活動を推進するとともに、教育活動への理解と連携を深めるため、P T A 広報紙の全戸配布に取り組むなど、社会教育の振興に多大の貢献をした。</p> |

3 教育行政分野〔12人〕

多年にわたり教育行政の推進に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

- (1) 八重樫 勝 (77歳) 前 岩手県教育委員会委員
- (2) 高橋 嘉行 (63歳) 前 岩手県教育委員会教育長
- (3) 田口 淳一 (75歳) 盛岡市教育委員会委員
- (4) 熊谷 雅英 (67歳) 滝沢市教育委員会教育長
- (5) 村木 佳子 (63歳) 葛巻町教育委員会委員
- (6) 土谷 美保子 (58歳) 葛巻町教育委員会委員
- (7) 平澤 勝郎 (69歳) 岩手町教育委員会教育長
- (8) 侘美 淳 (67歳) 紫波町教育委員会教育長
- (9) 小原 善則 (69歳) 前 北上市教育委員会教育長
- (10) 伊藤 晃二 (67歳) 宮古市教育委員会教育長
- (11) 伊東 勝幸 (76歳) 岩泉町教育委員会委員
- (12) 菅波 俊美 (70歳) 軽米町教育委員会教育長